



わくわく倶楽部

江口グループ

第220号

令和7年11月発行

酷暑に立ち向かう建設業 社員を守るための建設業の挑戦

江口グループ 代表取締役社長 江口 充



今月も「江口グループわくわく倶楽部ニュースレター」をお読みいただき、ありがとうございます！暑かった夏がようやく終わり、少しずつ秋らしい季節になってきました（10月14日現在）。年々、夏の暑さが尋常ではなくなってきています。私たち建設業は外で働く仕事。さまざまな熱中症対策を施していますが、そろそろ根本的に見直す時期が来ているのかもしれない。実際に、国も動き始めました。

今年の夏を振り返ると、本当に「異常」という言葉が当たり前になった暑さでした。40℃近い日が連続し、小松市も観測史上初の40℃超えを記録しました。「年々暑さが半端なくなってきた」と嘆く声は、もはや毎年の恒例行事のように聞こえてきます。そんな中でも、皆さんの暮らしを支える工事現場では、作業員の皆さんが汗を流しながらインフラを守り、未来の街をつくっています。

しかし、その姿の裏には、常に「熱中症」という大きなリスクがあるのです。日除けや空調服、こまめな休憩時間の確保といった工夫を重ねても、限界を超えた酷暑の前では効果が追いつかないのではないかと心配することがあります。年々暑くなる夏において、もはや「現場の努力」で乗り越えられない時がくるのではないかと思います。そうすると働き方のシステムそのものを根本から問い直さなければならない時代がきたのではないのでしょうか。

そんな背景のなか、驚きのニュースを見ました。国土交通省が大胆な新方針を示したのです。真夏の一定期間、現場作業を休みにする、いわゆる「夏季休工」です。対象は道路舗装や盛り土、埋め立てなど炎天下での作業を伴う工事で、1～2か月程度をめぐに導入されます。もちろん、地震や台風などで道路が壊れた場合など、緊急性の高い工事は対象外です。また、日雇い労働者の仕事が減ってしまう懸念もあることから、まずは試験的に導入し、影響を検証する方針です。

この政策が「単なるアイデア」ではないのは、すでに成功例があるからです。関東地方整備局の宇都宮国道事務所では、昨年8件の工事で試験的に「夏季休工」

を導入しました。その結果、工事を請け負った業者からは「社員の健康管理や働き方改革に直結する」と高い評価を得ました。休工中は作業員の休暇に充てたり、資材準備や工程の調整に活用したりできたのです。この実績が、今回の全国展開の大きな後押しとなりました。

国交省が見据えるのは、熱中症対策だけではありません。炎天下での過酷な作業は、深刻な「担い手不足」の要因にもなっています。だからこそ、「夏季休工」は、労働環境を根本から改善し、若者が安心して働ける業界にするための戦略的な一手でもあるのです。実際にある幹部はこう語っています。「猛暑の中で働くのは危険で生産性も落ちる。多様な働き方を選択できるようにし、安全性を高めることで担い手確保につなげたい。」

建設会社を経営する私も共感するところがあります。「社員や協力会社の健康を守るため、作業時間の短縮や猛暑日の調整は欠かせない」と思います。酷暑は事業継続の危機感と直結しています。さらに気候だけでなく、人々の価値観や労働観が変わるなかで、建設業界も旧来の慣習を捨て、新しい働き方を模索する必要があると感じます。記録的な猛暑は、建設業界に「働き方の見直し」を突きつけています。建設業界に導入される「夏季休工」は、その象徴ともいえる出来事です。

これまで「休むこと」が難しかった日本の労働文化に、気候変動という避けられない環境が、休むこと、安全に働くことを問題提起しているようにも思います。建設業で「夏休み」が当たり前になる。こんなことは数年前には考えられませんでした。でも、数年前には考えられない酷暑が現実にあります。この課題、また夏季休工という解決策に対して、さまざまな意見があると思います。ただ、今のままという状況ではいけなくなってきました。しっかりと議論し、みんなが働きやすい環境づくりを創っていかなくてはなりません。建設業において新しい働き方ができた時、私たちの社会全体や他産業の働き方にも大きな波及効果が生まれるでしょう。その新しい常識が根づいたとき、次の時代の働き方が見えてくるはずですよ。

江口グループ現場だより

地域との「つながり」を大切に！ 八丁川の防災工事現場にちびっこ見学者が来訪

皆 さんこんにちは。広報部の庄源です。
現在、江口組では小松市長田町で【一級河川八丁川総合流域防災工事】を進めております。この工事は、大雨が降っても川の水があふれないように、堤防を強くし、八丁川の周辺地域全体を水害から守り、地域の皆様の安心と安全な環境を整えるための護岸工事です。

そんな中、工事現場の近くにある『あらやこども園』の園児たちが、お散歩ついでに現場へ見学に来てくれました！
目の前で大きな音を立てて動く重機に、園児たちは興味津々。「あれに乗りたーい!!」「すごいね!」と、たくさんの歓声が上がりました。普段は緊張感のある現場も、子どもたちの屈託のない笑顔と好奇心あふれる眼差しで、とても和やかな良い時間となりました。

現場を担当している2年目の稲田くんは「橋の隙間からなんとか見ようとしている子どもたちを抱っこしてあげたら、とても喜んでくれて、一時は『抱っこして〜』の列ができるほどで、楽しく交流ができました!」と教えてくれました。

サブリーダー初仕事! 清掃活動に参加してきました!!

皆 さんこんにちは。広報部の川崎です。
9月20日(土)に社員の皆さんとともに梯川清掃活動に参加しました。

この清掃活動は梯川協議会が主催する地域一斉ボランティア活動で、小松能美建設業協会が運営をサポートしています。私たち江口組も、受付からゴミの運搬まで若手プロジェクト【ESTP】を中心に社員みんなで参加しました。

堤防の上からはあまりゴミは見当たりませんでしたが、



今回もたくさんの地域の方や社員が参加してくれました!

橋の上から工事現場を夢中で見る子どもたち



抱っこしてあげると、子どもたちは大喜び! 人気の稲田くんです。

このかわいい訪問を通して、私たちは改めて地域社会とのつながりの大切さを感じました。

今 後も、八丁川の安全性を高めるという工事の使命を全うするとともに、近隣の皆様への配慮を忘れず、安全第一で作業を進めてまいります。引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

河川敷や川岸を探すと小さなゴミから大きなゴミまでたくさんのゴミが落ちていました。しかし、地域の皆さんや社員の皆さんが隅々まで掃除をし、梯川をきれいにすることができました。

私 は7月からESTPのサブリーダーを務めることになりました。初めての行事ということもあって少し不安もありましたが、大きなトラブルもなく無事に終えることができました。これもひとえに、先輩方やメンバーの協力があってこそだと感じています。

この経験を通じて、自分自身も少し成長できたように思いますし、今後の行事にも、より一層の責任感を持って取り組んでいきます!



みんなが協力したおかげで梯川がきれいになりました!

このニュースレターの他に、江口組公式SNSでも頻繁に情報を発信しています。いいね、フォロー、登録を



(株)江口組公式 Facebook ページ

www.facebook.com/eguchigumi/



(株)江口組公式 X(旧Twitter)

@eguchigumi



土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。
皆さんのご近所で見かけた時はよろしくお願いします(^^)／



皆さんの暮らしに欠かせない 送水管工事をご紹介します!!

皆さんこんにちは。広報部のきゅうだです。
江口組では現在、小松市に新しく完成した【遊泉寺大橋】で送水管の設置工事を行っています。送水管とは、地域の皆さんの暮らしに欠かせない「水」を届けるための管のことで、橋に取り付けるのは県内初だそうです!

この工事では、災害が発生した際にも安定して水を届けられるよう、水を送る経路を増やし、地震に強い管を設置しています。使用している管は、さびにくく長持ちするステンレス製です。

管と管をつなぐために【溶接】という、高温で金属を溶かしてつなぎ合わせる作業を行い、【放射線透過試験】で内部にキズや隙間がないか細かく検査します。安全な水を届けるための大切な工程です。



この機械を使って管の内部を
検査しています!



端から端まで繋がっていて
迫力を感じました!!

SNS

「SNSを活用したいけど、SNSのことがよく分からない…」という方に、
SNS歴10年以上の江口組のセミナーはいかがですか?

江口組では、中小企業の皆さんに向けて『SNSで広がる商売のご縁 ～信頼を育み、つながりを深めるSNSの第一歩～』というセミナーを開催しました。

「SNSをやらなきゃとは思うけれど、何から始めたらいいのかわからない」「どのSNSを使えばいいのかわからない」といった声に答える形で、SNSを“宣伝の道具”ではなく“信頼とご縁を育てるツール”として活用する考え方をお伝えしました。

江口組が10年以上続けてきたSNS発信の経験をもとに、主要SNSの特徴や使い分け、炎上を防ぐ基本ルール、そして信頼を築く発信のコツなどを、実例を交えながらわかりやすく紹介。SNSに苦手意識がある方でも安心して学べる内容となっています。参加者からは「SNSの見方が変わった」「明日から早速実践しようと思った!」と好評でした。



SNSセミナーの様子

また、11月以降もSNSセミナーを開催します。開催概要は江口組公式Xでお知らせしますので、ぜひチェックしてください!



←江口組
公式Xは
こちらから

して現場や社内の様子、社内行事、現場監督の働きぶりを見てください! 毎日どれかは必ず更新しています!



(株)江口組公式 Instagram
eguchigumi



(株)江口組公式 YouTube
えぐチャンネル!



スタッフ通信



工務部
酒井 夢大



総務部
渡邊 友浩

今月のスタッフ通信のテーマは
【子どもの頃、好きだったキャラクター】です！
世代を超えた回答が集まり、読み応え十分！
社員の意外な一面が垣間見える、楽しい結果となりました。

“ドラえもん”

こんなひみつ道具が
現実世界にあったらなあ。
と、小さい頃憧れてました。

クリエイション江口
中田 さやか



子どもの頃、戦隊ものが大好きでした！

工務部
稲田 充希



小さい頃から絵を描くことが好き
でしたが
年中さんくらいの時キティちゃんか
好きすぎてどこにでもコロンを描いていた。
久しぶりに描きましたが
あの頃と全く同じ画力です。



クリエイション江口
徳田 律平



ウルトラマン



ポケモンの
ポッチャマ

ペンギンが好きだったから



ご意見・ご感想などがございましたら
SNS または 同封してあります
アンケートハガキにてご連絡下さい!!



発行元 **EGUCHI**
江口グループ
株式会社 江口組

小松市殿町2丁目66番地
TEL.0761-24-1311(代)
eguchigumi@eguchi-group.co.jp